

関西大学など4大学が国際化推進に向けたネットワーク形成に関する協定を締結



(左から) 楠見晴重・関西大学学長、鷺田清一・大阪大学前総長、福田秀樹・神戸大学学長、井上琢智・関西学院大学学長

関西大学、大阪大学、神戸大学、関西学院大学は、国際化推進に向けたネットワーク形成に関する協定を締結することで合意に達し、7月27日、大阪大学豊中キャンパスで協定書に調印した。これまで各大学において実施してきた「大学の国際化」をさらに推進するため、ネットワークを形成して連携を図ることを目的としている。具体的には、今後、4大学間での教職員や留学生の交流、留学生と産業界の交流、海外拠点での活動、さらには情報や資料の交換などを予定している。

最初の取り組みとして、7月30日にタイ・バンコクで4大学合同留学フェアを開催した。フェアには約150人が来場し、個別留学相談、大学紹介、模擬講義などを実施した。

チュラロンコン大学学長に名誉博士号授与「関西大学バンコクオフィス」を開設



ピロム・カモルラタナクル学長(左)に名誉博士称号記を贈呈する楠見学長

関西大学は8月26日、名誉博士号授与式を挙行政し、協定大学であるタイのチュラロンコン大学のピロム・カモルラタナクル学長に、楠見晴重学長から名誉博士称号記と記念メダルが贈呈された。

また、10月1日には、チュラロンコン大学石油・石油化学研究科リサーチサービスセンター内に「関西大学バンコクオフィス」を開設した。今後、タイの協定大学との交流、本学の教育・研究・社会連携活動に関する情報発信、国際シンポジウム等の開催、留学生別科の学生をはじめとする外国人留学生の募集活動、タイ在住の校友との連携の拠点となる。

東京で「関西4大学学長フォーラム」開催



関西4大学(関西、関西学院、同志社、立命館)主催、読売新聞社共催の「関西4大学学長フォーラム」が9月4日、東京都千代田区の丸ビルホールで開催された。8回目となる今回のテーマは、「震災からの復興に必要な力～未来を切り拓く人材を育てる～」。

渡邊美樹・ワタミ株式会社取締役会長の基調講演に続き、渡邊氏と4大学の在学生在が「いま、私たちにできること」と題したトークセッションを行った。その後、老川祥一・読売新聞グループ本社取締役最高顧問の司会で、4大学の学長によるパネルディスカッションに移った。楠見晴重学長は、「社会の安全・安心を実現できる人材を育てている社会安全学部を、世界の防災研究拠点となるよう発展させていきたい」と述べた。

大規模地震避難訓練「関大防災 Day2011」

関西大学千里山キャンパスで10月4日、学生・教職員・近隣住民約1万人が参加する大規模な地震避難訓練、「関大防災 Day2011～広がれ！みんなの安全・安心！～」が実施された。2時限目の授業中にマグニチュード7.6の直下型地震が発生したと想定し、地震音を放送。学生・教職員の避難から地震対策本部の設置、避難誘導、安否確認シートの配布・回収に至るまで、本学オリジナルの「地震対応マニュアル」に基づいて訓練を進めた。

今回の大規模地震避難訓練は、2008、2010年度に続き3度目。立命館大学や同志社大学など、49大学の関係者150人が見学に訪れた。炊き出し訓練、煙体験、地震体験コーナー、消火栓・消火器体験など、防災にかかわるさまざまなイベントもあわせて行った。

約1万人が参加した▶地震避難訓練

